

# 2012年5月研究会（中部地区）

日 時：2012年5月22日（火曜）18:00～20:00

会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス 1階 E11 教室

講演者：伊藤 武彦（名古屋商科大学大学院教授）

演 題：「ケースから考える伝承者と後継者の間で起こる矛盾とガバナンス基準」

司 会：齋藤孝一（名古屋商科大学大学院教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

## 講師プロフィール

---

伊藤 武彦（いとう たけひこ）

名古屋商科大学大学院マネジメント研究科 研究科長補佐  
1991年早稲田大学商学部卒業。富士総合研究所入社、ベンチャー経営、マーサー・ジャパン名古屋所長、同プリンシパルを経て㈱ライトマネジメントジャパンプリンシパル。2005年より名古屋商科大学大学院にて教壇に立ち、2008年同教授。

著書「4つのカラーで見直そうこれからの働き方」（ファーストプレス）。

他共著「取締役イノベーション」（東洋経済新報社）など。英国ダラム大学ビジネススクールMBA修了。

webサイト「ソフトバンクビジネス+IT」にて、連載記事「これからの企業で働くための条件」を寄稿中。



### 【専門分野】

人的資源管理、HRM, Responsible Management, Business Presentation, Talent Management for Business Strategy

組織人事戦略、リーダーシップ、グローバルマネージメント、ダイバーシティ・サステナビリティ、女性のリーダーシップ、ポップカルチャー

### <講演要旨>

組織ダイナミクスとリーダーシップ、コミュニケーションの観点から、事業承継における以下の4つのテーマ ①伝承者が後継者に伝えることで差がついてしまうポイント ②伝承者は家族なのかビジネスパートナーなのか ③オーナーガバナンスとビジネスガバナンスの混在を避ける方法 ④200年以上続いている会社とそうでない会社の違いについて研究報告をしていただきました。

例えば、会話の管理について、「運営のための会話」と「戦略のための会話」を区別してぶれない話をする。誰が正しいではなく、意味を共有する事に焦点を当てるのが重要、そのために権威は会議室に持ち込まず、戦略会議が終わったら、運営のための会話に切り替えるなど会話の管理が重要であり、意識的なトレーニングが必要である。など

研究会参加者：23名